

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 ☎491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931

UNITE FOR GOOD

URL: <http://rc138.org> E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp



重文「陵王」面 真清田神社蔵

2026年5月28日
第3678回例会

プログラム
卓話
米山学友
カルキ・ダル・バハドウルさん

ロータリーソング「四つのテスト」

第3676回例会の記録
2026年5月7日(木)

会長挨拶

山上哲司

5月3日閉幕した中日クラウンズの66年にわたる歴代優勝者リストには、国内外のビッグネームが刻まれています。本日は、1960年に第1回中日クラウンズを制覇した中村寅吉をご紹介します。

中村は1930年、15才で保土ヶ谷カントリー倶楽部にキャディー見習いとして採用され、日本のゴルフ黎明期を拓いたゴルファー・浅見緑蔵の指導を受け、1934年プロとなります。

戦争期のブランクを経て、1950年第1回関東オープンで初優勝すると同大会4連覇、1952年には日本オープンを制覇しました。

同年、全米オープン、世界プロゴルフ選手権に戦後日本人として初めて招待され、1958年にはマスターズにも招待されました。ちなみに、世界プロゴルフ選手権の優勝賞金は当時破格の2万5千ドルで、全米オープンやマスターズの優勝賞金は4千ドルでした。

1957年霞ヶ関カンツリーで開催されたカナダカップ選手権では個人戦に加え、小野光一とペアで戦った団体戦にも優勝するという偉業を達成しました。この試合は相撲と野球以外で初めて全国ネットでテレビ中継されたスポーツイベントで、日本に大きなゴルフブームが到来したのであります。ゴルフが金持ちの遊びからスポーツの仲間入りをした瞬間でした。

彼は1960年第1回中にクラウンズに出場、優勝し初代王者となります。その後も出場を続け、1976年大会では60歳7ヶ月で予選を通過、2011年、尾崎将司(64歳3ヶ月)に更新されるまで、35年間にわたって大会最年長予選突破選手としてその名を残しました。

次回の予定

6/4 青少年交換受入学生報告例会
ベルト君

会長 長 山上 哲司 会長エレクト 桑 原 英 寿
副 会 長 梯 國 彦 副 幹 事 吉 山 佐 人 規
幹 事 大 鹿 晃 裕 会報委員長 梅 谷 朋 志

新 会 員 紹 介



氏 名 佐 藤 勝 之 君

職業分類 生 命 保 険

勤 務 先 第一生命保険株式会社

役 職 名 エリア統括部長

生年月日 昭和43年 5月 22日

紹 介 者 森 克 彦 君



氏 名 島 田 啓 太 君

職業分類 証 券 業

勤 務 先 大和証券(株)一宮支店

役 職 名 支 店 長

生年月日 昭和59年 1月 27日

紹 介 者 関 戸 徹 君

ロータリーの友5月号

原 正則

横組みの表紙は野々市ロータリークラブの矢原憲雄さんがお描きになった「山里の春到来」です。五箇山の合掌造り集落の春を描かれています。縦組みの表紙は京都市陽ロータリークラブの赤木睦代さんがお描きになった「命輝く」です。50年間牛を描き続けられた赤木さんが悠久の時を経た巨樹と牛を描かれています。

今月は青少年奉仕月間です。横組み3頁にはRI会長の青少年奉仕に対する考え方のメッセージとして「ローターアクトやロータリー青少年交換などの青少年プログラムがロータリーの継続性を確かなものにする」と述べられています。

横組み6頁から11頁は特集「日本・アルゼンチン青少年の架け橋が再開」と題し、第2650地区とアルゼンチンの第4851地区の青少年交換事業が再開されるにあたり、エドゥアルド・テンポーネ駐日アルゼンチン大使と元青少年交換学生の奥坊文子さんが紹介されています。

縦組み2頁から6頁は「忠犬ハチ公」の飼い主としても有名な上野英三郎博士の偉業が掲載されています。1872年に現在の三重県津市で生まれ、53歳の若さで亡くなられるまで、日本の農業の近代化に努められ、水田の生産性向上や農業土木という学問分野の確立に尽力された内容が紹介されています。

委員会報告

ニコボックス

田口 誠

☆ 佐々木久直君 富田隆裕君 青山直生君

本日、ベルト君が例会にお越しいただいた喜びで。4月26日から成宮家より青山家に引っ越し致しました。青山さんのお宅でも伸び伸びと過ごしている様です。

☆ 金森隆浩君

歴史と伝統ある一宮ロータリークラブでイニシエーションスピーチをさせて頂く喜びに。本日14時まで私達が本気で造ったラグジュアリーバス「LUVIA」を会議所西の路上に持ち込みました。お時間が許す方は是非ご覧ください。

☆ 山上哲司君 大鹿晃裕君

本日は、金森隆浩さんのイニシエーションスピーチと共に名鉄観光バスの超大型新人「ルヴィア」の体験会は楽しみです。また、青少年交換受入学生ベルト君には帰国までの残り僅かな時間と米山奨学生のテッススーチョーさんには、これからの一宮ロータリークラブでの時間をお楽しみ下さい。

出席報告

現在の会員数 109名
本日の出席数 75名
前々回の出席率 100%

***** プログラム *****
イニシエーションスピーチ
金森隆浩君
テーマ「自己紹介」



名鉄観光バスの金森隆浩でございます。昨年7月、豊島会長のご紹介により、歴史と伝統ある一宮ロータリークラブに入会させていただきました。

私は大垣市墨俣町の出身です。幼少期はまだ天守閣のない墨俣一夜城跡で、石の上を飛び移って地面に足をつけずに公園を一周する「一夜城ジャンプ」というけが人が続出する遊びに興じ、長良川が決壊した「9.12 水害」の際には、校庭に押し寄せる水に大喜びして泳ぐなど、わんぱくな子供時代を過ごしました。現在は妻と二人の娘と稲沢市で同居し、長男は東京で独立しています。子供たちが全員無事に社会人となりホッとしたもの、見事に全員独身。「もしかしたら孫の顔は見られないかもしれない」と、少し寂しい気もしている今日この頃です。

1991年の名古屋鉄道入社以来、27年にわたりバス事業に携わってまいりました。その中で最も価値観を揺さぶられたのが、宮城交通の営業部長として現地で経験した東日本大震災です。通信網や電源が完全に喪失する中、市街地の火災や地盤沈下による水没などすさまじい被害を目の当たりにしました。交通インフラの代替機能を果たすべく不眠不休で奔走した日々は、インフラを担う者としての使命感と責任の重さを私の心に深く刻み込みました。

現在、弊社では本物志向の高付加価値バスツアー「遊山-yusan-」を展開し、新規顧客開拓にも成功しています。例会当日には、定員わずか18名の特別仕様バス「LUVIA」を駐車場へお持ちし、皆様にご見学いただきました。木を多用した豪華ながらも落ち着いた内装や本物の絵画展示、アテンド専用のバーカウンターなどを備えた究極の非日常空間を通じ、私たちが本気で作った新しいバス旅で皆様にも「WAO!」と感じていただけたなら幸いです。



***** プログラム *****

第3677回例会の記録

2026年5月21日(木) 例会変更 職場例会
日本耐酸塩工業株式会社見学・粋料亭 助六

会員44名の参加で職場例会を開催。岐阜県大垣市の日本耐酸塩工業株式会社の堤社長より会社説明をしていただき、その後4グループに分かれて工場見学をさせていただきました。その後、粋料亭助六で行われた例会では、佐々木直前会長の乾杯の発声で美味しいお食事を堪能しました。

